

イカナゴ情報（2009年5月）

平成 21 年 5 月 26 日，稚内水産試験場資源管理部，Tel 0162-32-7166

宗谷海峡東方海域のイカナゴの資源状態（図 1，2）と 2009 年 5 月 19～21 日に試験調査船北洋丸で実施したイカナゴ漁場における海洋観測結果（図 3，4）について報告します。

【漁獲量と資源水準】

2008 年のオホーツク海における沖合底びき網によるイカナゴの漁獲量は 1 万 4 千トンで、前年を 1,300 トン下回りました。漁法別にみるとかけまわしは 1 万 3 千トンと前年より 2,500 トン増加したのに対し、オッタートロールは 1,600 トンと、3,800 トン減少しました。

オッタートロール漁業の CPUE から判断される資源状況は、2004 年以降回復傾向にあり、2006 年漁期には 4 年振りに中水準となりましたが、2007 年以降、再び CPUE が低下傾向にあり、2008 年は低水準と判断されました。

【2009 年度の予想】

漁期の後半から加入する 1 歳魚（2008 年級群）の動向が予測できないため、精度の高い漁獲予想は困難ですが、2～4 歳魚の動向から判断して 2009 年漁期は漁獲量が減少する可能性が高いと考えられます。

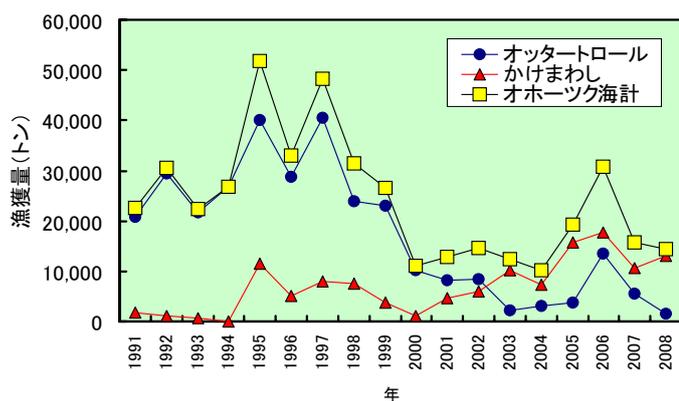


図 1 オホーツク海のイカナゴの漁獲量

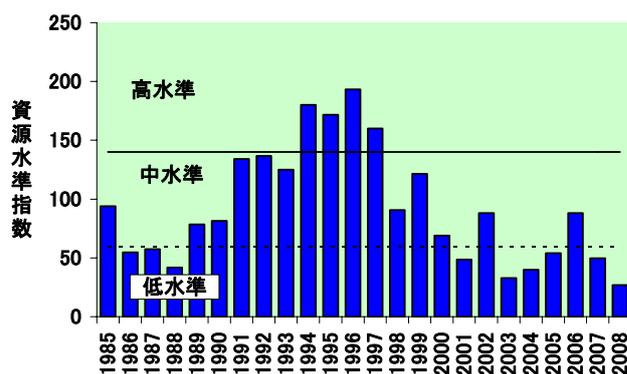


図 2 宗谷海峡東方海域のイカナゴの資源水準

（トロール漁業の CPUE について 1985～2004 年の平均値を 100 とした場合 100±40 の範囲を中水準とする）

【5月中～下旬の水温分布の状況について】

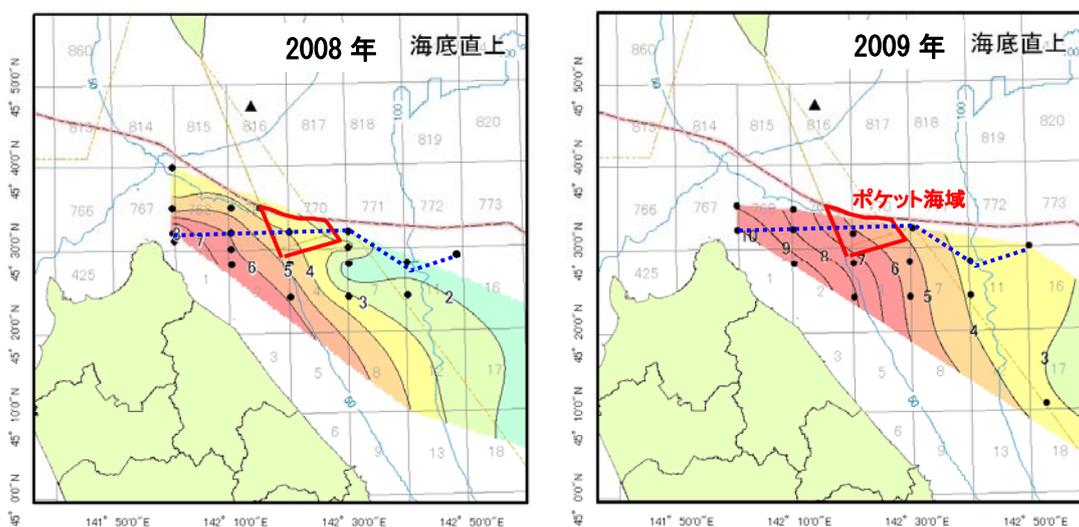


図3 底層水温(左:2008年5月21～23日、右:2009年5月19～21日)

青い波線は図4の水温鉛直分布図のラインを示す

- 宗谷海峡以東の海域の底層水温は全体的に高く、イカナゴの主漁場であるポケット海域(769・770海区)の水温は5～8℃で昨年(5℃台)と比べて、2℃ほど高くなっています。

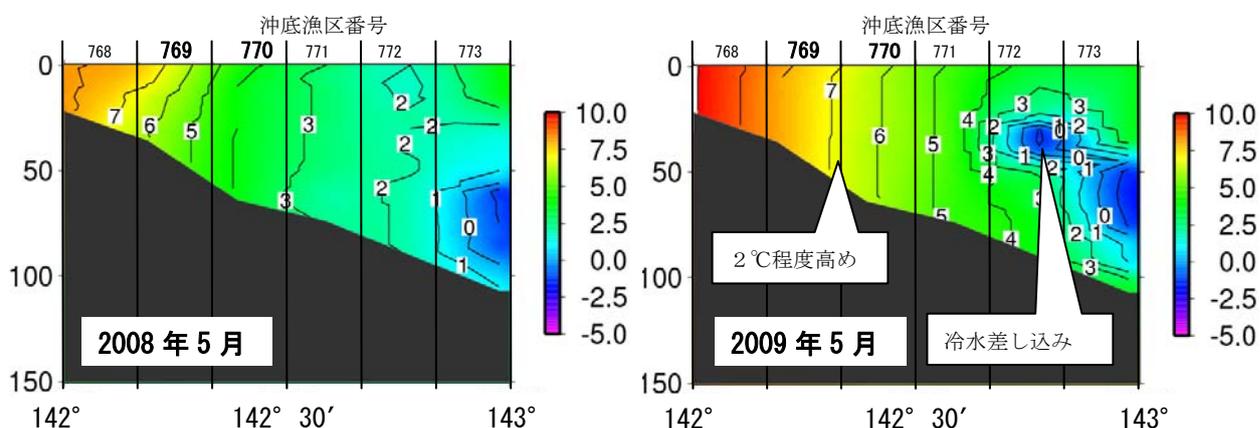


図4 イカナゴ漁場(769海区)を含む北緯45度32分ラインの水温鉛直分布

(左:2008年5月21～23日、右:2009年5月19～21日)

- イカナゴ漁場(769海区)を含む北緯45度32分ラインの水温鉛直分布をみると、142度40分以西で2008年に比べて2℃高めでした。猿払～頓別沖の水深30m付近に冷水の差し込みが見られますが、海底付近では3℃以上と暖かくなっています。